

社団法人 音楽電子事業協会 平成17年度事業報告

(理事会・運営委員会)

(平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会の開催

- 1 . 平成 17 年 5 月 12 日、平成 17 年度 第 1 回理事会
 - ・ 社団法人音楽電子事業協会「第 9 回通常総会議案書」の承認
 - ・ 平成 16 年度 収支決算及び監査報告の審議、承認
 - ・ 平成 17 年度 収支予算修正案の審議、承認
 - ・ 平成 17 年度 役員 (理事) 交代案の承認
 - ・ 平成 17 年度 専門委員会の統合・新設についての承認

- 2 . 平成 18 年 3 月 28 日、平成 17 年度 第 2 回理事会
 - ・ 平成 17 年度 事業報告案及び収支決算見込案の審議
 - ・ 平成 18 年度 事業計画案及び事業予算案の審議
 - ・ 第 10 回通常総会の開催及び付議事項の承認

- 3 . 書面審議
 - ・ 8 月 22 日 株式会社セガの入会が審議・承認された。

(2) 運営委員会

平成 17 年度第 1 回運営委員会 開催 (平成 18 年 2 月 16 日)

- ・ 平成 17 年度事業報告案が各委員から報告、検討された
- ・ 平成 17 年度収支決算 (着地見込) を事務局から提案、検討された
- ・ 平成 18 年度事業計画案が各委員会から提案され、検討された
- ・ 平成 18 年度事業計画案に基づいて平成 18 年度収支予算案を作成。これをもって理事会、総会に提案し審議を乞うこととした
- ・ 平成 18 年度第 1 回理事会、及び第 10 回通常総会の予定が案内された

社団法人 音楽電子事業協会 平成17年度事業報告

(専門委員会)

(平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

正副委員長部会長会議を 3 回実施した。(5/23、9/13、2/6)

次期部会長選出について、安全規格部会長は、末次賢一氏(ヤマハ株式会社) から田中敏夫氏(ローランド株式会社) に平成 18 年度より交代とする。また、環境問題研究部会長については、八木茂良氏(ヤマハ株式会社) が来期(平成 18 年度) は継続するが、平成 19 年度より戸田耕二氏(ヤマハ株式会社) に交代の予定。

【合同部会】(安全規格部会と環境問題研究部会 1 回開催)

- ・ 委員会レベルの業務、専門部会の運用各々の課題について審議検討を行った
- ・ その後、兵庫教育大学 鈴木寛 教授による「音楽とハイテク」と題した講演会を開催した。

【安全規格部会】(6 回開催)

- ・ 安全規格の変動対応と内容の徹底
- ・ EMC 規制の変動対応と内容の徹底
- ・ PL の推進
- ・ 外部委員会(JBMIA の第 108 委員会、電気用品調査委員会、JEITA の EMC 委員会) への参画と楽器に関する規格案の提示
- ・ 基礎技術資料の継続的見直しを実施

【環境問題研究部会】(5 回開催)

- ・ 国内外の環境に関する法規制の動向調査と情報交換
- ・ グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI) への参画と情報交換

(2) M I D I 規格委員会

- 1 幹事会を 6 回開催、MMA スタッフを招いて、日本での合同会議を開催し両者が連携、協力して米国側から提案された新たな規格に関する検討が開始された。
- 2 新たなテーマとして、民生 Robot への MIDI 応用についての第 1 次検討ステップとして、トヨタ自動車の Robot 担当部署を訪問し、初回意見交換を実施した。今後、これを一つの手掛りとして更に継続した活動に結び付けるべく検討。
- 3 NAMM 会期中に現地(米国・アナハイム) で開催された MMA/AMEI 合同会議に AMEI から複数名が参加し直接現地 MMA スタッフとの議論に参加した。
- 4 10 月に、MMA から現状の MIDI 1.0 規格をベースとし、一部の機能を拡張して新たな応用分野を開拓する提案を受け、慎重な検討を進めるための準備を開始した。
- 5 例年通り 1 月には NAMM ツアーが会員 17 名の参加を得て実施された。

(3) 著作権・ソフト委員会

【著作権部会】

- 1 AMEI としての著作権法改正要望のまとめを行った
- 2 文化庁へ「著作権等管理事業法の見直しに対する意見」を会員の意見をまとめたうえで提出した。監督官庁である経済産業省にも報告をした
- 3 NMRC と韓国高麗音楽出版協会 (KMPA) の韓国楽曲のクリアリングシステムの実験がスタートした
- 4 CCD (デジタル時代の著作権協議会) 活動への参画
文化庁管轄の団体、総務省、経団連も連携し全ての著作権関係団体への ID 付与を検討

【カラオケ部会】

- 1 JASRAC と使用料規程の見直しに関する継続的協議を 5 回実施した (継続協議中)
- 2 ダイキサウンド社と業務用通信カラオケの契約書案を協議し、合意にいたった
- 3 JASRAC 「その他規程」の変更に関し、文化庁及び JASRAC にカラオケ部会としての意見を伝え、説明を受けた
- 4 新管理事業者 ICA の使用料規程の説明を受けた

【インターネット・モバイル部会】

- 1 NMRC を通じ、JASRAC 等音楽管理事業者との協議を実施した
 - ・リングバックトーン利用に関する JASRAC 著作権使用料の決定
 - ・JASRAC 管理楽曲の管理が除外となった場合の対応ルール化に関する協議継続中 (カラオケ部会合同)
 - ・JASRAC と DRM を活用したメディアストレージ型利用に於ける利用料の協議をスタートした。
- 2 NMRC 実務 WG 活動がスタートした
 - ・JASRAC 「利用の手引き」に関する意見交換
 - ・E ライセンスへのシステム他に関する要望
 - ・JRC との意見交換会

【ソフト規格部会】

- 1 GCP-WG(楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する WG)
対象を絞り込み弁護士を交えての勉強会等により、法的措置の研究を行われた
- 2 DMN-WG(インタラクティブ配信に於ける演奏データの可視的利用に関する WG)
JASRAC の見解の変化に対しての意見交換をした

平成 17 年度 著作権・ソフト委員会実施内容

日 時	主たるテーマ	セミナー他
4 月 14 日 (13:30~14:30)	1、今年度のテーマについて～佐々木委員長挨拶 ・包括契約に関する諸問題 ・著作権法改正要望 2、JASRAC にカラオケ部会、協議申し入れ 3、DMN・WG を JASRAC の料率の捉え方に関し開催予定	
5 月 12 日 (13:30~14:30)	1、ダイキサウンドとの契約書案協議進捗状況 2、NMRC 実務 WG 活動報告	
6 月 9 日 (13:30~14:30)	1、「著作権法改正対応協議」の報告 2、ヨビメロサービスの JASRAC 対応 3、各部会、WG,透かし Project の報告	セミナー 「韓国音楽著作権事情」 講師：孫惠民(ソン・ヘミン)
7 月 14 日 (13:30~16:00)	1、JASRAC 「阪神タイガース私設応援団中虎連合会を著作者とする作品の使用料返金に関するお知らせ」への対応 2、楽器内蔵コンテンツの保護に関する勉強会報告	セミナー MUPASS システム説明会 (株)サミーネットワークス 第 1 回 GCP・WG 勉強会
9 月 8 日 (13:30~15:00)	1、JASRAC の管理楽曲変更に関する問題 2、JASRAC のストリーミング配信に対するカテゴリー変更の件 3、NMRC,KMPA 韓国楽曲クリアリングシステム実験スタート	
10 月 13 日 (13:30~15:00)	1、「著作権等管理事業法の見直しに対する意見」文化庁へ提出報告 2、E ライセンスからの使用料規程に関する連絡 3、JASRAC のストリーミングに関する見なしの件、途中経過報告	10 月 8 日に「著作権等管理事業法のみなおしに対する意見」を文化庁に提出 第 2 回 GCP・WG 勉強会
11 月 10 日 (13:30~14:40)	1、JASRAC 「韓国作品(9 作品)の使用料の返金のお知らせ」の件 2、経団連「映像コンテンツのブロードバンド配信に関する著作権関係団体協議会との合意」を受けての JASRAC 使用料規程 3、JASRAC のストリーミングに関する見なしの件、報告	NMRC 実務 WG E ライセンスと協議
12 月 9 日 (15:30~17:00)	1、JASRAC 使用料返金文書回答要望報告 2、利用制限つき音楽配信ビジネスモデルの JASRAC との協議 3、JASRAC 「その他規程」一部変更案の照会	忘年懇親会(参加 70 名)
1 月 13 日 (13:30~15:00)	1、利用制限つき音楽配信ビジネスモデルの JASRAC 案提示 2、「さよならの名場面」JASRAC 案内及び「ドコモダケのうた」の件報告 3、JASRAC とのカラオケ部会協議報告 4、NMRA 実務 WG 報告	
2 月 9 日 (13:30~15:00)	1 「メディアストレージ型サービス」JASRAC 案の紹介と検討 2 JASRAC 「その他」規程の本規程化の件 3 GCP-WG 進捗状況 4 CCD 進捗状況	
3 月 9 日 (13:30~15:00)	1. GCP-WG の中間まとめの報告 2. JRC 使用料規程改定の件報告 3. 「メディアストレージ型サービス」JASRAC との協議報告	

(4) 透かし推進プロジェクト

着信メロディデータへの埋め込み実験を含み、計5回のプロジェクトミーティングを開催した。

【技術ワーキンググループ】

- ・ISMC規格のリコメンデッドパターンにおいてJASRACコードに関係する部分の桁数を修正した。
- ・Mfiフォーマット(携帯端末用着メロデータ)へのMIDIsign埋込実験と評価会を開催。
- ・MIDIsignデコーダーのdll化を検討
- ・エンコーダーのハードウェアキーをRS232CからUSB対応に移行検討

【運営ワーキンググループ】

- ・デコードサーバーの稼働保守(ただし応対件数が少ないため常時稼働はせず)

【普及展開ワーキンググループ】

- ・NTTドコモ社とのMIDIsign普及検討協力の継続依頼について了解を得た
- ・JASRACネットワーク課と連帯進行。J-MUSE構想(JASRACがインターネット上で透かし検出口ボットを巡回させる)にMIDIsignデコーダを搭載することについての業務覚書、守秘契約の検討継続

(5) メディアコンテンツ委員会(当初: デジタルコンテンツ委員会)

昨年からスタートしたデジタルコンテンツ委員会は、将来の市場の姿を配慮し、より将来の市場に相応しいテーマを捉えるべく、デジタル系の各種ソフトメディアに焦点をあて、今後更に発展、拡大が期待されている分野での新たな情報収集とそれらの勉強のため、AMEIの現状に即した委員会活動を実施した。

- 1 年間5回の委員会及び3回のセミナーを開催した
 - 1) 早稲田大学 山崎教授による「1ビットオーディオ技術と視聴会」
 - 2) アコースティック社、中山氏による「携帯電話とその音」
 - 3) 古山委員長による、「DAW周辺プラグインソフト」の実情」
- 2 今年度の委員会活動をベースに、次年度以降も継続した勉強会、セミナー等を実施し、広く会員へ参加を呼びかけるための準備をした。

(6) MIDI 検定委員会

1 【平成17年度 MIDI 検定試験】

第8回3級試験 第7回2級筆記試験 平成17年12月4日

第7回2級実技試験 平成18年2月11,12,13日、18,19日、25,26日

4級認定講座 随時

* インターネットでの受験申し込み等、新たな募集手法を実施した。

* 新規検定協力校: 北海道札幌琴似工業高等学校、ヤマハ音楽院大阪
ヤマハ神戸店、ヤマハ松山店、神戸山手短期大学

2【指導者認定講座（講師養成）】

- 4級指導者認定講座 平成17年5月15日 東京、5月22日 大阪
- 3級指導者認定講座 平成17年7月10日 東京、7月17日 大阪
- 4級指導者認定講座 受講者42名（累計241名）
- 3級指導者認定講座 受講者64名（累計163名）
- 2級指導者認定に関しては、継続検討課題とした。

3【MIDIライセンサーカンファレンス】

- ・11月25日（金）26日（土） 於：アップルストア心斎橋
- ・西日本地区2級ライセンサー17名の参加を得てMIDI検定委員との意見、情報交換会を実施した。今後の検定試験運営のため貴重な情報収集ができた。

4【海外でのMID検定】

- * 中国 ・12月4日：日本と同日、同時間に同問題で実施。
・7都市、受験者252名（去年は5都市、受験者112名）
- * 韓国 ・3級テキストの内容の確認中、検定実施に向けての準備段階

MIDI 検定試験合格者数と合格率の推移

級	内容	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	累計
3級試験	実施日	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
		H11.1.17	H12.1.23	H13.1.28	H13.12.16	H14.12.8	H15.12.7	H16.12.5	H17.12.4	
	受験者数	2,964	2,737	2,145	2,009	1,871	1,965	1,742	1,469	16,902
	(内学校)	1,275	1,591	866	1,040	904	968	917	715	8,276
	合格者数	2,413	1,543	1,536	1,411	1,342	1,460	1,233	1,056	11,994
	合格率	81.41%	56.38%	71.61%	70.23%	71.73%	74.30%	70.78%	71.89%	70.96%
2級1次試験	実施日		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
			H12.5.28	H13.1.13	H13.12.16	H14.12.8	H15.12.7	H16.12.5	H17.12.4	
	受験者数		979	594	587	391	470	404	429	3,854
	合格者数		350	240	290	228	292	108	189	1,697
合格率		35.75%	40.40%	49.40%	58.31%	62.13%	26.73%	44.06%	44.03%	
2級2次試験	実施日		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
			H12.7.	H13.3.	H14.2.	H15.2.	H16.2.	H17.2.	H18.2.	
	受験者数		328	295	404	391	387	234	211	2,039
	合格者数		127	64	21	171	37	97	66	583
合格率		38.72%	21.69%	5.20%	43.73%	9.56%	41.45%	31.28%	28.59%	
受験者計		2,964	4,044	3,034	3,000	2,653	2,822	2,380	1,898	22,795

(7) 事業委員会

全体会議を5回開催し、11月の楽器フェアへの参加準備計画を中心としてフェアの運営事務局を委託した.ミュージックネットワーク社の協力を得て運営内容を検討し、会員11社の参加を得て、予定通り実施された。

本年度フェア収支

収入	2,150,000 円
支出	5,112,054 円
収支差額	2,962,054 円

(8) 広報委員会

AMEI News を3回発行した。あわせて、AMEI のホームページにも公開した。

- ・ AMEI News Vol.26 (4月7日発行)
- ・ AMEI News Vol.27 (7月4日発行)
- ・ AMEI News Vol.28 (12月15日発行)

以上の全委員会の諸活動を合わせて年間を通じ約125回の会議が開催された。

以上